

ナムコ

バンダイナムコグループのアミューズメント施設SBU主幹会社

◆バンダイナムコグループの一員である新生ナムコ

株式会社ナムコは、二〇〇五年九月に株式会社バンダイとの経営統合を行い、総合エンターテインメント企業グループであるバンダイナムコグループへと新たに生まれ変わった。その際、ナムコは、二〇〇六年にゲームコンテンツを制作する株式会社バンダイナムコゲームスと、アミューズメント施設の企画・運営の株式会社ナムコに分割され、新しい一歩を踏み出している。

現在のナムコは、「ナムコランド」などのロケーション事業、「ナムコ・ナンジャタウン」などのテーマパーク事業、ボウリング事業「ワンダーボウル」やインターネット空間「知・好・楽」といった、施設を運営する中で遊びの体験を提供している企業である。また、大型複合施設「ワンダーパーク」や自社ディベロッパー施設「ワンダーシティ」の開発など様々な施設展開も行ってきた。近年は顧客セグメントに合わせて施設展開を進めており、特にグループのキャラクターコンテンツ

を活かした施設の企画と運営を推進している。広範に渡る事業を持つグループ内で、顧客との直接接点を通して体験価値を提供する施設事業という特徴を活かして、独自のポジションを築いている。接客コンテスト「N-1グランプリ」の開催やサービス接遇実務検定資格の取得推進、店舗の覆面調査など、アミューズメント業界のみに留まらずサービス業界全体を視野に入れた接客力向上の取り組みにも積極的である。

◆市場拡大への新たな試み

ナムコでは、昨今の経済状況や少子高齢化を見越して、これまでの主力事業であるアミューズメント施設運営に加えて、グループのキャラクターコンテンツや開発力を活かした新しい施設の開発や、新規施設事業の企画開発にも余念がない。五〇年以上に渡り、数百店舗のアミューズメント施設を開発・運営してきたノウハウと、ナムコ・ナンジャタウンや様々なフードテーマパークを創り上げる中で培われてきた企画力を活かして、女兒向けの『たまごっちアイドルパーク』や、中国の人気キャラクターをテーマにした『ZAMCO LAND KIDS 喜羊羊与灰太狼 歡樂園』、肉のテーマパーク『東京ミートレア』など、国内外で新たな施設を展開している。

また、新たな市場の一つとして、海外での施設展開も進め、世界でもトップレベルのアミューズメント運営技術を現地市場に適応させながら拡大するための出店を行なっている。

ナムコ(単体)業績推移

	2006.3.31~9.30	2006.10.1~2007.3.31	2007年度	2008年度
売上	30,620	32,657	64,883	57,793
経常利益	2,144	1,178	1,923	783

2006年は組織再編のため、変更の決算となっている。(単位:百万円)

ヒーローと出会えるスポット

ナムコが運営する大型複合アミューズメント施設「ナムコ ワンダーパーク ヒーロースペース」(神奈川県川崎市)は、オープンから、わずか26カ月という早さで来場者数500万人を達成した。「夢のヒーローと出会う、触れあう、体験する」というテーマで運営され、キャラクターコンテンツを活かした施設運営が人気の秘密。

「遊び」と「学び」のコラボ

近年のナムコでは、子どもの健全な育成を「遊び」と「学び」両方の視点から捉える施設作りにも力を入れている。「イーアスつくば店」では、発明王「エジソン」にちなんだ「エジソンKIDS」を展開。また、「イオンはくばく店」では、随所に工夫を凝らした「遊べる図書館」「ブックストック」をオープンした。